

講習の名称	【選択】 UAV を用いた地学教育
講習の概要	地形・地質・自然災害等の調査・記録のための UAV（無人航空機：いわゆるドローン）の活用に関する初歩的講習。座学と実技（各 3 時間）からなります。座学では，ドローンに関する航空法等の基礎知識，地質・化石・地震災害調査への活用事例，小学生対象ドローン教室の事例等を紹介し，地学教育における可能性について考えます。実技では，体育館内で小型ドローンの操縦・空撮体験を行います。
担当講師	本山 功（理学部主担当教授）
講習開設日	令和 3 年 8 月 1 日（日）
時間数	8:50～16:10（6 時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス B7（理学部 4）2 階 C 2 0 3（講義，集合場所），C 2 0 2（シミュレータ室）， 第一体育館，グラウンド（実技）
対象職種	教諭
主な受講対象者	高等学校教諭（理科）
受講予定人数	9 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	筆記用具。 ドローンで撮影した画像を持ち帰る場合は USB や SD カード，ノートパソコンなどの記録媒体を持参してください。 ご自分でドローンをお持ちの方は，持参していただいてもけっこうです。 教科書・参考書は無し。
評価基準	①全時間出席していること。 ②テストの得点が 6 0 点以上であること。 ③実技を積極的に実践すること。
評価の観点	講習内容を理解し，説明（記述）および実技を実践できるか否か。
その他特記事項	